

技術審査項目
【SAGAハイスクールDI人材育成業務委託】

別添 3

No.	提案項目	審査の観点	配点
1	(1)伴走型支援に関する提案 ①伴走型支援の実施体制及びコーチの人選について 【コーチの要件】 ・大学や高等専門学校においてIT・デジタル技術又は半導体設計の専門教育を受けた者 ・若しくはIT関連企業や半導体製造企業に3年以上従事した経験がある者	・コーチに対し、技術面・指導面について支援を行う体制となっているか ・コーチの要件を理解し、適切な人材を充てることが想定されているか	40
2	(1)伴走型支援に関する提案 ②コーチの育成及び支援体制について	・カリキュラムをもとに適切に指導を行うための育成が計画されているか ・生徒を支援することに対する実践的な視点に留意した育成が計画されているか ・コーチに対し技術面や指導面をサポートする体制となっているか	40
3	(1)伴走型支援に関する提案 ③参加生徒に対する伴走型支援の具体的な実施方法について 「共創活動」を例に具体的な伴走型支援の実施方法を提案すること	・参加生徒への指導や質問対応等の方法は適切か ・参加生徒に対して、カリキュラムをもとに適切に伴走できる内容となっているか	100
4	(2)DI人材育成カリキュラムに関する提案 ・佐賀で活躍するDI人材の育成を目的としたカリキュラムについて、構想を提案すること ① SAGA DI Lab. 3 のカリキュラム全体像 ② SAGA DI Lab.3について具体的な内容	・佐賀で活躍するDI人材の好循環を念頭とした内容となっているか ・カリキュラムの全体像はDI人材の育成に資するものとなっているか ・SAGA DI Lab.3の内容は高校生を対象とするカリキュラムとして適切か	100
5	(3)DI人材育成教材に関する提案 ・DI人材育成を目的として本業務で作成する以下の教材について、構想を提案すること ①マスタープログラム ②共創活動	・高校3年生を対象とする内容として適切な水準か ・1講座100分程度とし、マスタープログラム8講座程度で実施するに当たり適切な分量となっているか ・参加生徒がDIについて自ら学び、技術力、創造力を身につける工夫が検討されているか ・企業と協働し、企業の課題解決を含む活動の提案がなされているか ・共創活動へ向かうための教材の工夫が検討されているか	100
6	(3)DI人材育成教材に関する提案 ・DI人材育成を目的として本業務で作成する以下の取組について、構想を具体的に提案すること ③地元人材循環に向けた取組	・高校生を対象とする内容として適切な水準か ・教材の構想には、地元への人材循環を実現する工夫が検討されているか ・教材の構想には、インターンシップやコミュニティ構築に関する提案がなされているか	60
7	(4)事務局運営業務に関する提案 ・事務局の運営に関する以下の項目について提案すること ①事務局の運営体制及び連絡体制について	・運営体制は適切か ・参加生徒やコーチの連絡体制は適切か ・連絡、日程調整等において学校現場の負担を軽減する工夫はされているか	20
8	(4)事務局運営業務に関する提案 ・事務局の運営に関する以下の項目について提案すること ②カリキュラムの進捗管理及び参加生徒の成績・ポートフォリオ管理について	・カリキュラムの進捗管理方法は適切か ・成績及びポートフォリオの管理方法は適切か ・参加生徒や教職員及びコーチが情報を随時閲覧できる環境が構築されているか	20
9	(5)佐賀県高校生DI選手権の開催に関する提案 ・アドバンストプログラム、マスタープログラムで学ぶ内容を踏まえ、令和8年8月に計画している佐賀県高校生DI選手権で実施する競技内容・運営の構想を提案すること	・競技テーマは適切か ・高校2・3年生が参加する競技として、適切な難易度となっているか ・運営計画及び運営体制は適切か ・佐賀県内のDI人材育成に係る機運が高揚する工夫が検討されているか	60
10	(6)成果発表会の開催に関する提案 ・ベーシックプログラムで学ぶ内容を踏まえ、令和8年12月に計画している成果発表会で実施する競技の構想を提案すること	・競技テーマは適切か ・高校1年生が参加する競技として、適切な難易度となっているか ・運営計画及び運営体制は適切か ・佐賀県内のDI人材育成に係る機運が高揚する工夫が検討されているか	20
11	(7)県内IT産業への貢献に関する提案 ・県内のIT技術や情報産業への具体的な貢献内容及び実現方法を提案すること	・県内における情報産業の活性化やIT人材の増加に資する内容となっているか	40
			600